



令和4年9月15日
海上保安庁

日印海上保安機関間の関係強化に向けて(結果概要)

～日印海上保安機関長官級会談の開催について～

令和4年9月12日(月)、石井昌平海上保安庁長官は、東京において、ブレンドラー・シン・パタニア インド沿岸警備隊長官(ICG)と両機関の連携・協力の強化に向けた長官級会談を行いました。

同日午後には、横浜機動防除基地及び羽田航空基地を、両長官が視察を行いました。

1 開催概要

開催日： 令和4年9月12日(月)

場所： 2号館12階 国際会議室

参加者： 石井 昌平 海上保安庁長官 ほか

ブレンドラー・シン・パタニア インド沿岸警備隊長官 ほか

2 長官級会談の結果概要

- 当庁主体で開催した油の鑑定・分析、HNS対応に関するオンライン研修及びインド沿岸警備隊主催のNATOPOLREX(※1)及びSAREX(※2)の実績を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響で人的交流が難しい状況のなかでも工夫して交流し、両機関の連携・協力が推進できていることを評価。
- ICG潜水士教官の育成に向けて、引続き両機関は連携・協力していくことで一致。

※1 NATOPOLREX

1993年に制定されたインド政府の油流出災害緊急計画(National Oil Spill Disaster Contingency Plan, NOSDCP)に基づいて関係機関の円滑な油防除作業の実施を図ることを目的とするICG主催の官民合同訓練。

※2 SAREX

インド洋沿岸国の各海上搜索救助機関の運用体制等についての情報を共有することで、インド洋における海上搜索救助体制を発展させることを目的とするICG主催の搜索救助訓練。



日印海上保安機関長官級会談



羽田航空基地視察